

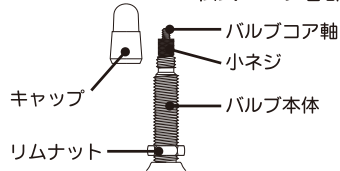
タイヤの取りはずしかた
(仏式バルブチューブの場合)

タイヤの取り付けかた
(仏式バルブチューブの場合)

タイヤの取りはずしかた
(米式バルブチューブの場合)

タイヤの取り付けかた
(米式バルブチューブの場合)

仏式バルブ各部名称



①バルブのキャップとリムナットを外し、バルブコア軸の小ネジを緩め、軽く押し込んで空気を抜いてください。

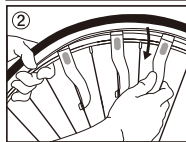
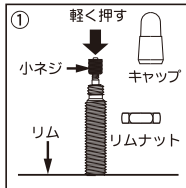
②ビード部にタイヤレバーを10cm位の間隔で1本ずつ差し込み、矢印の方向に倒してください。

※このときチューブを傷つけないように、タイヤレバーはビード部のみにかけるように注意。
※タイヤレバーを差し込む際に、レバーがスポークから外れないようにしっかりとかける。

③リムに沿って20~30cm程度の作業を繰り返しながらビード部を外し、残りのビード部は指で外してください。

④片側のビード部全体をリムから外す。その後バルブ部分を残してチューブを取り出します。

⑤タイヤと、チューブのバルブ部分とをいっしょにつかみ上げ、もう片方のビード部をリムから外します。



①タイヤにチューブのバルブ部分をはめ込み、リムのバルブ穴にチューブのバルブを通してください。

②リムに沿って片側のビード部を徐々にリムにはめていってください。
※このときチューブをはさまないように注意。

③チューブをタイヤの中に入れてください。
※このときチューブをねじったり、折り曲げたりした状態で無理にタイヤを押し込まないように注意。

④もう片方のビード部をバルブの反対側(図の矢印の位置)からリムに沿って徐々ににはめていってください。
※このときチューブをはさまないように注意。

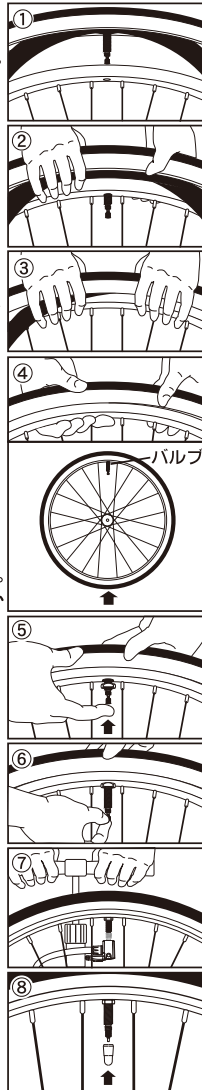
⑤バルブ部分へのビード部はめ込みは、チューブがはさまらないようにバルブを図のようにリムの内側に2~3回軽く押し込んでください。
※ビード部を両側ともはめた後、リムとビードの間にチューブがはさまっていないか両側のビード部を必ず点検する。はさんだまま空気を入れるとパンクします。

⑥バルブにリムナットを取りつけてください。
※リムナットは必ず装着し、指で締める。

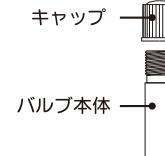
⑦空気をすこし入れてビード部がリムに均一にはまっているか点検してください。均一でない場合は手でもんで調整します。調整の後空気を徐々に入れてください。

⑧空気圧はタイヤに表示されている標準空気圧(推奨空気圧)に従ってください。空気を入れた後小ネジを締め、最後にバルブのキャップをつけて終了です。

※バルブキャップは必ず装着してください。バルブ内へのホコリ、水分の侵入を防止します。



米式バルブ各部名称



①バルブのキャップを外し、右図のバルブコア軸を細い棒で押し空気を抜いてください。

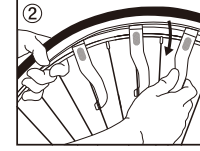
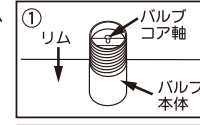
②ビード部にタイヤレバーを10cm位の間隔で1本ずつ差し込み、矢印の方向に倒してください。

※このときチューブを傷つけないように、タイヤレバーはビード部のみにかけるように注意。

③リムに沿って20~30cm程度の作業を繰り返しながらビード部を外し、残りのビード部は指で外してください。

④片側のビード部全体をリムから外す。その後バルブ部分を残してチューブを取り出します。

⑤タイヤと、チューブのバルブ部分とをいっしょにつかみ上げ、もう片方のビード部をリムから外します。



①タイヤにチューブのバルブ部分をはめ込み、リムのバルブ穴にチューブのバルブを通してください。

②リムに沿って片側のビード部を徐々にリムにはめていってください。
※このときチューブをはさまないように注意。

③チューブをタイヤの中に入れてください。
※このときチューブをねじったり、折り曲げたりした状態で無理にタイヤを押し込まないように注意。

④もう片方のビード部をバルブの反対側(図の矢印の位置)からリムに沿って徐々ににはめていってください。
※このときチューブをはさまないように注意。

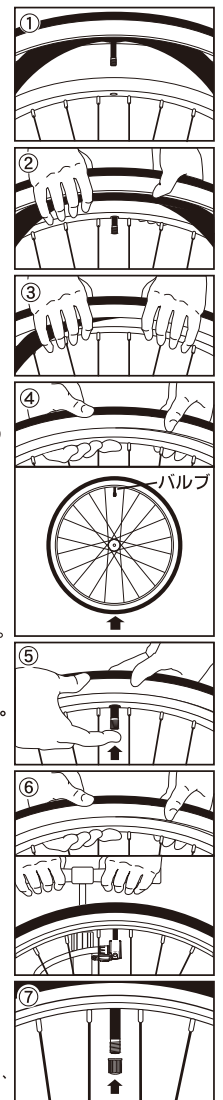
⑤バルブ部分へのビード部はめ込みは、チューブがはさまらないようにバルブを図のようにリムの内側に2~3回軽く押し込んでください。

※ビード部を両側ともはめた後、リムとビードの間にチューブがはさまっていないか両側のビード部を必ず点検する。はさんだまま空気を入れるとパンクします。

⑥空気をすこし入れてビード部がリムに均一にはまっているか点検してください。均一でない場合は手でもんで調整します。調整の後空気を徐々に入れてください。
※ポンプはポンプの取扱説明書に従って正しく使用する。

⑦空気圧はタイヤに表示されている標準空気圧(推奨空気圧)に従ってください。最後にバルブのキャップをつけて終了です。

※バルブキャップは必ず装着してください。バルブ内へのホコリ、水分の侵入を防止します。



■商品に関するお問い合わせは・・・

パナレーサー株式会社

669-3464 兵庫県丹波市氷上町石生 250
お客様相談室 0795-82-6806 (通話料有料)
(受付時間 9:00~17:00 ※休業日土日祝祭日を除く)